

愛媛県愛南警察署協議会会議録  
(令和3年度第2回)

日時	令和3年9月16日(木) 午後3時00分～午後5時00分
出席者	1 警察署協議会側 会長以下5人(欠席委員1人) 2 警察署側 署長以下7人
議事概要	<p><b>1 会長挨拶</b></p> <p>本日は、前回6月の答申に対する取組状況、6月から8月までの業務推進結果、9月から12月までの推進計画、そして「大規模災害対策」について協議することとなっている。</p> <p>災害に関しては、本年8月上旬から中旬にかけて、この時季としては異例の長雨と、これらの影響による全国的な豪雨被害が発生した。また、近い将来、高い確率での発生が予測されている南海トラフ地震では、県による愛南町の被害予測は甚大なものとなっている。これら大規模災害への備えは、地域住民にとって最大の関心事の一つであり災害が発生した際に、少しでも被害を軽減するためには日頃の備えが大切である。</p> <p>愛南警察署のスローガンである、「未来へつながろう 安全・安心 愛顔のあいなん」の実現のためにも、積極的に住民意見を提言し、取組に反映させることが重要である。</p> <p><b>2 署長挨拶</b></p> <p>本年8月末までの愛南警察署管内の治安情勢は、窃盗24件の他、暴行・傷害等の35件を認知しており、前年の同期間と比較して、13件の減少となっている。このほか、還付金詐欺等に代表される特殊詐欺の予兆動向やDV、ストーカー等の人身の安全に関わる事案が愛南町内でも発生しており、今後も予断を許さない情勢にある。</p> <p>交通事故関係は、前回の諮問に対する答申を踏まえながら、交通安全対策を推進し、昨日現在で人身事故は4件発生しており、前年の同時期と比べると7件減少している。</p> <p>愛南警察署としては、こうした事件・事故を1件でも減らすため、事件検挙活動や交通指導取締活動、各種関係機関や団体との連携を強化しながら治安の維持に努め、地域の安全安心につながる広報啓発活動にも尽力したいと考えている。当署としては、「未来へつながろう 安全・安心 愛顔のあいなん」の実現に向け、町民の視点に立った警察行政の推進に、より一層努力していく。本日は、当署の業務の方向性について、多様な御意見をいただき、今後の愛南警察署運営に確実かつ早期に反映させて参りたいと考えている。</p>

議 事 概 要	<p><b>3 議事</b></p> <p>(1) 業務推進結果、業務推進計画等の説明</p> <p>ア 前回の答申に対する愛南署の取組</p> <p>令和3年度第1回協議会における諮問（管内主要道路における交通事故抑止対策）に対し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ パトカー等の「目に見える警ら」について パトカーを目にすると悪いことをしていなくてもドキッと する。緊張感につながるので、パトカーや白バイには、管内の 隅々までどンドン走ってもらいたい。</li> <li>◇ 警察力の集中的な運用について 交通事故が起こりやすい場所での集中的運用や昨年発生し た交通死亡事故現場の横断歩道での取組を願いたい。</li> <li>◇ 横断歩道における取組について 横断歩道で停止しないドライバーも多い、CATV等と協力 した広報啓発の継続や、抜き打ちの交通監視を願いたい。</li> <li>◇ 自転車利用者に対する広報啓発について スポーツバイク利用者には、交通マナーが分かっていない人 もいるため、交通マナーを理解させる安全教育を願いたい。</li> <li>◇ 運転免許自主返納制度の在り方について 父が運転免許証を自主返納後に認知症が進行した。特典の充 実による自主返納促進に違和感もあり、返納者の気持ちに寄り 添う対策を願いたい。</li> </ul> <p>との答申を受け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ パトカーや白バイの活動は、勤務計画により可能な限り管内 の隅々まで警らや交通指導取締りを実施している。今後もドラ イバー等に緊張感を持たせ、交通事故を抑止するとともに、町 民に安全・安心を実感してもらえよう、計画的かつ柔軟に運 用する。</li> <li>○ 交通事故分析で判明した交通事故につながりやすい場所での 交通指導取締りや、国道56号、広域農道等の幹線道路の警ら活 動や交通指導取締りをバランスよく運用している。 昨年の交通死亡事故現場の横断歩道付近では、道路管理者と 連携して注意喚起看板の設置や路面標示の改良等のハード面 の対策とともに、定期的な交通監視や交通指導等のソフト面 での対策を、今後も継続して取り組んでいく。</li> <li>○ 県警では「横断歩道止まろうキャンペーン」として、「まじめ えひめの停止率～まずは全国平均」をスローガンに継続実施し ている。 広報用缶バッジや団扇、チラシ等を活用したキャンペーン広 報を実施しており、今後も各関係機関・団体の協力を得ながら、 引き続き効果的な広報啓発を行うとともに、ドライバー等に対 する注意喚起や歩行者に対する安全指導等を実施していく。</li> </ul>
------------------	---

議 事 概 要	<p>○ 自転車利用者に対する街頭指導や交通安全教室の開催により、交通ルールの遵守について広報啓発活動を行っており、今後も交通事故抑止のため継続して実施する。</p> <p>○ 運転免許自主返納制度については、自主返納者に対する利便性の向上も不可欠であることから、各事業者の協力を得て様々な特典を設けている。今後も返納者の気持ちに寄り添えるよう、様々な業種の事業者に対して協力を仰いでいきたい。</p> <p>また、愛南町では、地域コミュニティバス「あいなんバス」を運行しており、代替交通手段として利便性向上に向けた検討を今後も町に働きかけたい。</p> <p>等の取組推進状況を説明した。</p> <p>イ 業務推進結果等 各課が、令和3年6月から8月までの業務推進結果、令和3年9月から12月までの業務推進計画について、報告説明した。</p> <p>ウ 質疑応答 委員から</p> <p>○ 各課の説明を聞いて、愛南署が町内の治安維持に向けて、事細かく様々な取組をしていることがよく分かりました。との感想があった。</p> <p>また、</p> <p>○ ロマンズ詐欺とは、どんな手口の犯罪か。</p> <p>○ 町内の狭路に、路上駐車している車両をよく見るがその対応について などの質疑があり、担当課長からロマンズ詐欺の手口や駐車車両の対応について説明を行った。</p> <p>その後、委員から</p> <p>○ ストーカー被害を受けた知人が、年末年始にも関わらず愛南署に迅速かつ丁寧に対応してもらったと、大変感謝していた。との謝辞があった。</p> <p>(2) 諮問及び答申</p> <p>ア 諮問事項 大規模災害対策について</p> <p>イ 趣旨説明 愛南警察署は、旧南宇和郡の5町（御荘・城辺・一本松・西海・内海）が平成16年10月に合併した愛南町を所管している。愛南町は宇和海に面した位置にあり、南海トラフ地震による津波や台風による高波被害の発生が予想される。また、沿岸部の切り立った崖や山間部の土砂災害危険箇所を有しており大規模地震、台風及び豪雨等による水害や土砂災害の発生が懸念されている。</p> <p>過去には、昭和21年12月「昭和南海地震」、昭和35年5月「チリ地震津波」による御荘湾の真珠いかだや城辺地区の家屋流</p>
------------------	--

議 事 概 要	<p>失等の被害が発生している。今年についても、7月の停滞した前線による大雨により、町内全域で冠水や土砂崩れ被害が発生しており、現在も、県道一本松城辺線の一部が法面損傷による地滑りの通行止め規制が来年9月までの予定で行われている。また、海岸線の漂着ゴミの除去、土砂崩れの復旧工事も行われている。このように、愛南町の特長としては、地震による津波被害や大雨による土砂災害など、大規模災害の危険性を有しており、協議会委員の皆さま方に、「大規模災害対策」について、今後どのようにあるべきか、御意見をお願い申し上げます。</p> <p><b>【検討項目】</b>  検討項目について</p> <p>(1) 危機意識の共有  愛南署では、大規模災害に備える継続的な取組として、災害救助活動用装備の取扱いに関する習熟訓練や伝達訓練、非常参集及び災害警備本部設置訓練を実施するとともに、署災害実施計画、災害発生時における初期対応マニュアルを作成し、署員間での危機意識の共有を図っている。</p> <p>(2) 関係機関との連携  自治体、消防などの関係機関とは、気象警報発表時の情報共有や、土砂災害危険箇所パトロールを実施するなど、関係機関との連携を図っている。</p> <p>(3) 広報活動  巡回連絡時や所管区広報紙を活用した広報、運転免許更新時に防災関係チラシを配布するなどの広報活動を行っている。など、愛南署の取組状況を説明し、委員からの答申を受けた。</p> <p>ウ 意見、要望等  各委員から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 災害対応については、町民との危機意識の共有が最大の課題で、如何に町民に危機意識を浸透させるかが重要。</li> <li>◇ 町内の各地区に自主防災組織があるが、危機意識や問題意識には温度差があり、実働している組織は少ない。</li> <li>◇ 住民の高齢化により、中心となり実際に動ける地域リーダーが不在で、災害時の活動が困難。</li> <li>◇ 訓練のための訓練ではなく、現状に合わせた訓練の実施が不可欠。</li> <li>◇ 訓練や広報について、地道に活動を積み上げてほしい。</li> <li>◇ 地域住民に対する危機意識の植え付けに関する広報を継続反復して実施してほしい。</li> </ul> <p>などの要望意見が出された。</p> <p>エ 答申  大規模災害対策の答申として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 町民との危機意識の共有の強化</li> </ul>
------------------	--

- ◇ 関係機関との連携
- ◇ 効果的な広報活動  
などの施策を図りたい。

#### 4 その他

協議会終了後、交通係長の説明後、「自転車シミュレーター体験」を行った。体験した委員からは、

- 愛南町内には鉄道がないので、初めて踏切を通行した。
- 自転車で出発する際の、後方確認の重要性を再認識した。
- この体験をもとに、交差点の一時停止、左右確認などを確実にし、交通事故防止を図っていきたい。

等の感想があり、交通事故防止の意識の高揚がうかがえた。

～ 以上 ～

協議会開会の状況



会長挨拶の状況



署長挨拶の状況



議案審議の状況①



議案審議の状況②



諮問及び答申の状況



自転車シミュレーター体験の状況

